

CTP Newsletter

ニュージーランド出身香取市国際交流員
花田・卓也・サミュエル (サム)

What is Waitangi Day?

ワイタンギーデーとは?



ワイタンギーデーはニュージーランドだけの祝日で、先住民族マオリと英国王室の間の条約（マオリ語で「テ・ティリティ」）を祝うためのものです。1840年に調印され、両者がニュージーランドに共存するための条約でした。英語とマオリ語で書かれています。それぞれ違うことが書かれていたらしいです。そのため、近年まで土地をめぐる紛争や差別が絶えませんでした。現在、両者の関係は徐々に改善されていて、1974年から毎年2月6日が祝日です。その日に条約を調印された場所でマオリとイギリスの文化交流を行い、パフォーマンスの披露やスピーチなどを行います。



ティキというお守り
みたいなもの



コルという植物のデザインをタ
トゥーにする人が多い



伝統的なマオリ服やタトゥー

Kiwis don't confess their feelings!

ニュージーランド人は告白しない!

ニュージーランドではバレンタインデーに告白する文化がありません。なぜかと言うと自然に付き合うカップルが多いからです。ニュージーランドでバレンタインデーは恋人とデートに行って、一緒に過ごすホリデーになっています。

また、日本と真逆で男性が女性にチョコ、バラ、プレゼントなどをあげるのは当たり前です。女性も男性にプレゼントをあげることもあります。基本的には男性が頑張らないといけないイメージなので、日本みたいにバレンタインデーとホワイトデーに分けたらいいなと思っています。今まで毎年バレンタインに相手がいなかったの、友達と過ごしてお互いプレゼントと花束を交換して美味しいご飯を食べに行きました。

February in NZ

2月インニュージー

今回のテーマはニュージーランドの祝日ワイタンギーデーとバレンタインの文化について話したいと思います。

今ニュージーランドは真夏だから、日が長く、天気も良いので皆さんがよく外で遊んでいます。毎日ハイキングやビーチに行ったり、夜はBBQしたり焚き火の周りで飲んだりします。私がニュージーランドに住んでいた頃もよくしました。特に泳ぐのが好きなので、夜でも海や川、プールで泳いだりしていました。夕日も大好きなのでいつも山に行って、音楽を聴きながら日が落ちるまで見ました。日本に引っ越してからあまりハイキングや海に行けてないので、県内で週末にどこか行きたいなと思っています。おすすめがあれば教えてくれると嬉しいです!

February means Valentine's Day!

2月と言えば、バレンタインデー

日本のバレンタインは海外に比べると結構特殊だと思います。日本では女性から男性へチョコを贈るのが普通です。女子高生が好きな男の子にチョコをあげて告白するのをよくアニメやドラマで見ましたが、私は今までチョコ一回も貰ったことがないです。また、3月14日（ホワイトデー）に男性が返して、何かプレゼントを女性にあげるのも普通です。しかし、海外ではこういう文化やホワイトデーがないです。



去年のバレンタインデーに友達から花束をもらいました。笑

海外では告白はしないけど、バレンタインや卒業の時に無記名で手紙を書く人がいます。



水郷佐原あやめパークのウィンターイルミネーション

Suigo Sawara Ayame Park Winter Illumination



12月、飾り作業を手伝いに行きましたが、今月やっとイルミネーションと狐火ナイトを見にいきました。本当に寒かったですが、風が少なく、雨もなかったのも、無事に終わりました。前回より人が多かったし、他の年に比べるとイルミがかなりパワーアップしたらしいので、来年もできたら是非見に行ってみてください。



あおぞら・にほんご

Aozora Nihongo



この間「あおぞら・にほんご」に行ってきました。外国人と地元の人を優しい日本語で繋ぐことを目的に、毎月第3日曜日に開催しているイベントです。職場以外で日本語を使う良い機会になりました。美味しいものを食べながら、様々な人と出会って、色々な面白い話もできました。皆さんも機会があれば、是非行ってみてください。



茶道を体験した！

Japanese tea experience

Little Edo Sawara

FacebookのLittle Edo Sawaraで香取市での生活や観光など多く発信しています。全部日本語でも文書を書いているので、見ていただけたら嬉しいです。また、コメントやメッセージでも、話ができれば嬉しいです。



佐原に新しくできたコンパスの和室の一つで伝統的な茶道体験をさせていただきました。新年ということで、ウサギをモチーフにした和菓子がたくさんあり、とても素敵でした。実は私、卯年生まれなので、今年の運勢がよくなるようにと願っています。

香取市に来てから、イベントや観光のことをさせていただきましたが、これから他のことも色々挑戦してみたいと思っていますので、英語・企画・手伝いでも何かがあれば、是非3階の商工観光課でお声掛けください！





タイマッサージ

タイのこと…聞いてみタイ？



タイ出身香取市国際交流員 ティ（ラタナウィモンチャイ チャヤンクン）

2023年
2月号

タイ人って日本の何が好き？

4～5年前、訪日タイ人が増加したとメディアでも報じられたのを見たことあるかと思います。香取市も、タイのドラマ・映画のロケ地になったおかげで、2019年に来市した外国人観光客の割合、タイ人が1位でした。今回はタイ人が日本の何が好きかについて話そうと！

実は、先月タイに行ってきました。1月27～29日の間、バンコクで日本旅行フェア「Visit Japan FIT Fair」が3年ぶりに開催されて、香取市からは私と同じ観光班の久保木さんが参加し、千葉県ブースにて千葉県と香取市をPRしました。千葉県以外、30余りの自治体も参加し、ブースの配置は地域で分けられて、千葉県のブースの隣には神奈川県で、向かいには茨城県と東京都でした。初日は、平日にもかかわらず日本旅行に興味があるタイ人が次々と来場しました。



先月バンコクで開催された日本旅行フェア
千葉県のブースにて

東京、大阪、北海道と比べて、タイ人にとって「千葉」の知名度がそれほど高くなく、旅行フェアで、千葉県はどこにあるのと

よく聞かれました。東京のすぐ隣で、みなさんが日本に来る時に降りた成田空港も千葉県にありますよと言ったら「なるほど、知らなかった」と驚いた人も少なくありませんでした。ほかによく聞かれたのが



東京から新幹線で90分、日帰りで行ける「GALA湯沢」
スキー・スノボではなく、雪景色との写真撮影や
手ぶらでソリ遊び・雪遊びできるのが
タイ人に人気の理由

「どこでいちご狩りができるの」です。成東駅周辺や東庄町にはいちご園がたくさんありますが、主な移動手段が電車である外国人観光客にとって、交通の利便性も大事です。香取市みたいに観光スポット（佐原の古い町並み）からほど近いところにいちご園があるのはあまりありません。観光もいちご狩りも一か所まとめて体験できるのは魅力ポイントだと思います。

元々タイではいちごの栽培がなく、約50年前に栽培実験が始まりましたが、品種改良があまり進んでいないのと気温が日本ほど寒くならないせい、粒が小さく、それに、すっぱくて、日本のいちごと比べものになりません。ただし、日本から輸入したいちごの値段はとても高く、この間デパートに行ったら1パックの

「とちあいか」が2,000バーツ（約8,000円）で売られているのを見ました。4分の1のお金で日本ではいちごを食べ放題できるのならみんなしますよね。

来場者にいつごろ日本に来るか聞いたら、早い人は2月中、または、3月下旬～4月中旬あたりと答えた人が多い印象です。それは「いちご」を食べたいのと「桜」を見たいからです。また、10～11月に来る人は「紅葉」を、12～2月に来る人は「雪」を目当てにしています。要するにタイにないモノ・景色を求めているということです。

「さくら、紅葉、雪」は、日本にしかないものではないのに、なぜ日本？友達、知り合い、フェアの来場者と話した中、理由は、日本のきれいに整理されている街、お寺や神社、日本の古い建物、おいしい食べ物、マナーやルールをきちんと守るところ、言葉が通じなくても身振り手振りで頑張って伝えようとしてくれるところ、などです。ものだけでなく、「人」も大きな理由の一つです。これらのプラスαなことで、タイ人はほかの国ではなく、日本に魅了されました。



小見川城山公園のさくら（2022年3月31日撮影）



香取神宮の総門と紅葉 (2021年12月2日撮影)

20年ほど前在日タイ大使館に勤めていた一人のフェア来場者は、当時東京から車で香取市佐原に来たことがあるそうです。昔の日本の雰囲気がある町並みに感動したと言いました。一つ困ったのはお店の看板などの表記が全て日本語だったことです。お品書きは日本語でしか表記されていないからどんな料理かわからなかったようです。

香取市内のお店の利用者は地元の方と日本人観光客のほうが多いのと、英語が得意ではないことは理解していますが、お品書きに少なくとも写真があれば、言葉が通じなくてもなんとかなると思います。

外国人観光客はあまりお金を落としてくれないというのは、もしかしてこれがその原因の一つではないでしょうか。外国人観光客に合わせることや優先することはしなくてもいいですが、普段のお品書きとは別に料理の写真と値段を記載したクリアファイル1冊を作るなど、少しの工夫でも効果があると思います。

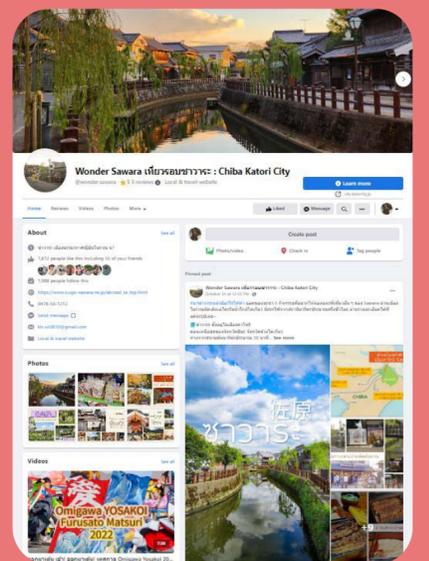
私はタイ人に日本に関する情報を発信する時、場所やバス停の名前、お品書きなどは、タイ語の読み方の後に括弧で日本語の名称を入れています。こうすることで、現地で看板を見る際により簡単に見比べできるようになります。旅行先を決める時、多くのタイ人はよく他の人のレビューを参考にしています。面白そうと思ったら、日本語がわからなくてもそのレビュー通りにすれば、行き方や道に迷うことなく、食べ物の注文も間違いなく同じものが食べられるからです。言葉の壁が低くなれば、行ってみたい気持ちも増え、地域経済の発展にもつながるかと思います。タイでは4月中旬に連休があり、海外旅行を予定しているタイ人も多いでしょう。日本に、そして、香取市を訪れることを期待しています。



朱色の鳥居と淡いピンク色のさくら
日本でしか見られない風景
香取神宮参道入口の鳥居 (2022年3月31日撮影)

現在、SNSを通してタイ人に香取市のことを発信していますが、香取市のみなさんにタイのことを発信できていないと感じました。学校や市民の方々と異文化交流、タイのことでなくても在日外国人としての意見交換やディスカッションなど、この月刊のようにお互いのことが少しでも知り合える機会ができればうれしいです！お手伝いできる企画などがあれば、ぜひ商工観光課までお声がけください。

タイ人向けに香取市の情報をフェイスブックページ「Wonder Sawara เทียนทองซาวาระ : Chiba Katori City」にて発信しています。可能な限り日本語の文章も付けるようにするので、ぜひのぞいてみてください～(フォローをしていただけたらうれしいです！)



FBページ →
QRコード

または、フェイスブックアプリ
で「Wonder Sawara」を検索

水郷佐原あやめパークで
12月17日と1月21日に行われたイベント
「水郷の夜宴～狐火ナイト～」



香取神宮の節分祭
豆まきは3年ぶりに行われたらしい



ア ティ ラタナウィモンチャイ チャヤンクン

タイ、バンコク出身。CHULALONGKORN大学教育学部美術科卒。ウェブデザイナーとして1年間勤めた後、語学のため2008年に初来日。日本語学校を経て専門学校のグラフィックデザイン科に進学。卒業後は帰国し、新潟県湯沢町や群馬県みなかみ町のタイ語版パンフレット作製の依頼を受け、両町がタイの旅行博に出展する際にも通訳としてお手伝いをしたことが日本観光に携わるきっかけとなった。2018年再来日し、タイ語版編集者としてインハウンドウェブメディア会社に入社。2021年9月からは香取市の国際交流員として勤めている。

